

子ども教育

通信

保育実習

座談会



森尾恵里 講師

子ども教育学科2年
佐々木雄生
丹生高校出身

子ども教育学科2年
荒木陽和音
武生商業高校出身

子ども教育学科2年
小嶋更紗
武生東高校出身

**挑戦すること。試してみること。
実体験から学ぶのが、実習です。**

実習前に大学で事前指導を受けてから実習に臨みます。
今回は実習前の不安や疑問を先生が引き出しながら、みんなで話し合いました。

Q. 実習に向けて聞きたいことはありますか？

小嶋: 高校時代、保育ボランティアに参加したのですが、やんちゃな子どもが多く、ケンカばかりしていました。自分が関わると盛り上がり止められなくなるような気がして、声のかけ方がわからず戸惑いました。こういう場合はどうしたらいいのでしょうか。

森尾: まずは当事者である子どもたちの声に耳を傾けることが大事です。子どもたち自身に考えさせることで、すぐに納得はできないかもしれませんが、経験の積み重ねが成長に繋がります。ケンカを解決することが先生の役割ではありません。

荒木: 園には0歳児もいますが、私はおむつを替えたりしたことはありません。そういうことは、事前に練習しておいたほうがいいでしょうか。

森尾: いきなり対応するのは難しいので、はじめに担当の先生におむつ替えの方法を聞いてみましょう。ただ、練習しておくのはいいことです。いろんな気付きもありますよ。

佐々木: 以前、幼稚園実習の際に、一人の子ども

から「こっち来て先生!」と呼ばれました。でも同時に他の子どもからも同じように呼ばれたんです。「順番だよ」と言っても聞いてくれず、最終的に「○○くんばかり!」と言われました。どうしたら良かったのでしょうか。

森尾: 「今、先生はこの子と○○して遊んでいるんだよ。おもしろいよ、一緒に遊ぶ?」と問いかけるなど、自分の気持ちを伝えたり楽しさを共有できる方法を提案したりしてはどうでしょうか。「○○くんばかり!」と言われたら、「そうか、△△で遊びたかったんだね。ごめんね」と子どもの気持ちも受け止めてあげたいですね。かわりかたに正解はありませんが、だからこそ、いろいろ考えたり振り返ったりすること自体が重要です。実習はそういう経験を積みに行く機会です。

Q. 実習で取り組んでみたいことはありますか？

荒木: 子どもたちとのふれあいを楽しみたいです。実習だからと硬くなるのではなく、思い出をつくり

行く気持ちで臨みたいと思っています。

森尾: いいですね。きっと、これからの長い保育者人生でも大切な思い出の1ページになります。目指したい先生像が見えてきたらより良いですね。

小嶋: わーっと楽しんだり、優しく支えたり、メリハリを付けて接したいと思っています。

佐々木: メリハリは大事ですね。叱ってばかりいる先生にはなりたくないです。寄り添って、子どもたちの長所を伸ばせる先生になりたいです。

森尾: 確かに、きつく叱って言うことを聞かせることが保育ではありませんね。なぜ、今の行動が危険なのか、相手の子どもの気持ちはどうなのかなどをきちんと子どもに伝えることが大事ですね。そういう時、子どもがどんな反応をするのかを実際に体験できることには大きな意味があります。まずは力いっぱい子どもたちに関わりましょう。子どもたちは、大人が思っている以上に自分で考えています。子どもたちのリアルな表情、言葉を持ち帰ってきてください。そこには子どもたち一人一人の思いが込められています。その思いを感じとれる保育者を目指してほしいと思っています。

育てる力を育む

子ども教育学科では、教育・保育者としての“育てる力”を育むために、様々な形態の授業、活動、教材の作成などの創意工夫を行っています。

●授業

保育基礎演習

教えるために必要な表現力の土台となる素養を。

教育・保育に求められる表現技術（造形・音楽・身体表現）の素養を、オムニバス方式で学んでいく授業です。写真は、「音楽」。会話や歩行など日常生活のいろんなシーンは、リズムとして捉えることができます。例えば、「おはようございます」にはどのようなリズムやイントネーションが付くのか、音楽としての視点で学びます。リズムカルな生活をすることは、リズムカルなコミュニケーションを育み、子どもに何かを教える時や一緒に遊ぶ時に役立ちます。



子ども教育学科1年
海道恋花
福井商業高校出身



リズムが身につくと、教え方が変わります。(篠田洋先生)

●絵本制作(ゼミ活動)

越前打刃物物語

地域を学びながら、絵本のつくり方を学ぶ。

毎年、伊東ゼミでは学生による絵本制作を行っています。2022年度のテーマは、越前打刃物の開祖が越前府中に移住してから700年目に向けての「千代鶴国安越前定住700年プロジェクト」に合わせ、「越前打刃物」に。先生が用意したベースとなる構成をもとにストーリー（物語）を作り、その後、絵を描いていきました。先生になった際に有用な紙芝居や絵本をつくる過程や、地域の産業の歴史について学べたことが良かったです。



子ども教育学科4年
前田有菜
羽水高校出身



子ども教育学科4年
吉田和永
富山国際大学付属
高校出身

子ども教育学科4年
小川夏歩
武生東高校出身

絵本は、越前市内の保育園、幼稚園、こども園、小中学校に寄贈されました。

●教科書

造形表現・図画工作・美術 描くつくる 育つ 78の技法

いろんな“描く・つくる人”が、活用して、楽しめる本。

絵画の基礎から、つくって遊ぶ工作、紙漉き、現代美術まで、全78の技法をカラー図版で紹介する教科書を作成しました。保育者や教員を目指す学生や、現職の先生、さらには一般の人といった、様々な“工作する人”の役に立てたらと思っています。こういった本は、作品例が少ないことが多いので、できるだけ数多く作品例を載せることにこだわりました。A4判 132頁 福村出版 2023年



伊東知之 教授

約3年かけて完成した
「描く・つくる人」の教科書。